

令和6年度

SWGsを掲げる長木小学校

感動と笑顔の花を咲かせるために身に付けたい  
4つのコンピテンス

チャレンジ力

コミュニケーション力

前向きさ

自分らしさ

## 令和6年度 大館市立長木小学校 学校評価書（年度）

地域と一緒に、地域のために、今、長木小ができること



芋掘り 早く掘りたいな



保小合同避難訓練 子どもたちの手を引いて



圏域産業祭での鳳凰太鼓



イルミネーション飾り付け



地域の方々にありがとうの気持ちを

令和7年2月5日（水）大館市立長木小学校

# I 令和6年度の学校評価について

## 令和6年度の学校評価と評価書の概要について

- (1) 令和6年度は、学校評価の参考となる「児童評価」に1年生、2年生も加えて児童、保護者、教職員の観点から評価できるようにしています。教職員の自己評価は「学校評価一覧」を、「児童評価」「保護者評価」は別紙のアンケート結果をご覧ください。
- (2) 学校評価一覧の内容については、評価項目Ⅳの内容を一部整理しましたが、内容的には前年度と大きな変更はありません。評価は昨年度前期の数値と比較できるようにしています。
- (3) 学校評価一覧の自己評価Bは、評価指標の小項目の教職員の自己評価（5段階評価 少数第一位まで）の平均値で示しています。
- (4) 自己評価Aは、学校評価項目Ⅰ～Ⅴの小項目の自己評価Bの平均で判断します。
- (5) 学校運営協議会評価は、学校からの説明、自己評価B、自己評価A等の結果に基づいて学校運営協議会委員の方々に5段階（極めて良好～努力を要する）で評価いただきます。
- (6) 評価書の横棒グラフは、学校評価一覧の実践課題の達成状況について、児童、保護者、教職員にアンケートを行った結果を示しています。各項目の達成状況については「そう思う」「まあまあそう思う」と回答した人数の割合を合わせた「肯定的回答」の割合で評価しています。

# II 学校評価の基準

協議会の評価区分 自己評価Aと学校運営	極めて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い/数値目標の100%
	良好		4	実現状況は良好で意識もある/数値目標の81～99%
	概ね良好		3	実現状況はおおむね良好である/数値目標の61～80%
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定/数値目標40～60%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する/数値目標の39%以下の達成

## 〈参考〉児童・保護者のアンケートの評価基準、対象者数・回収率

そう思う	4
まあまあそう思う	3
少し不十分	2
不十分	1
分からない	0

調査対象児童数	147名
調査対象保護者世帯数	116世帯
回数世帯数	100世帯
回収率	86%
教職員回答数	14名

# Ⅲ 学校経営グランドデザイン

令和6年度 SWGsを掲げる長木小 学校経営グランドデザイン

学校教育目標

ふるさとに立ち心豊かでたくましく生き生きと学び合う子どもの育成

教育理念：子ども、保護者、教師、地域、みんながパートナー

## 目指す子ども像

- 一人一人が自分の力を発揮して、粘り強く課題解決に取り組む子ども
- やさしさと思いやりにあふれ、互いのよさを認め合える子ども
- 前向きに考え、主体的に行動し、共に高め合える子ども

## 目指す学校像

- 笑顔の花あふれる、やさしい学校
- つながりの中でたくましく生きる力を高める学校
- 子どもが毎日行きたい、教師が楽しく働きたいと思える学校

## 目指す教師像

- 教育のプロとして自己修養に努め、指導力向上に取り組む教師
- 元気、笑顔、あいさつを大切にしている教師
- チーム長木を大切にしている教師

Well-beingな学校であり続けるための17の実践目標

# SUSTAINABLE WELL-BEING GOALS

1 明るいあいさつをしよう  
2 やさしい言葉づかいをしよう  
3 ルールを守ろう責任をもとう  
4 メディアコントロールに取り組みよう  
5 いじめをなくそう  
6 学校をきれいにしよう  
7 健康をたいせつにしよう  
8 体力づくりをしよう  
9 すずんで発表しよう  
10 話し合っ解決しよう  
11 友だちの話から学ぼう  
12 本をたくさん読もう  
13 学校の伝統を守ろう  
14 ボランティアに参加しよう  
15 人と、地域とつながろう  
16 地域を花でいっぱいにしよう  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

## 身に付けたい4つのコンピテンスト、6つの教育戦略

一人一人が花開く

やってみよう

チャレンジ力  
自己肯定感・有用感  
満足感 自己実現

ありがとう

コミュニケーション力  
協働 感謝 親切  
やさしさ 思いやり

なんとかなる

前向きさ  
自己受容 柔軟性  
気持ちの切り替え

ありのままに

自分らしさ  
自己概念 独立  
他人と自分を比べない

しなやかに上に伸びる重点戦略

### 人づくり

道徳や特別活動を通じた、豊かな心と健やかな体の育成

- 自発的・自治的で創造的な児童会活動の推進
- 多様な縦割り活動の充実
- 道徳的实践を促す道徳教育の推進
- 命の教育の充実
- 食育・体力づくり

### 絆づくり

学校、保護者、地域のつながりと未来を考えるふるさとキャリア教育の充実

- 「エソタンポポ」「あじさい」ダブルPJの推進
- エソポッポクラブ、長木小応援チームとの連携
- 地域行事やボランティアへの積極的な参加
- 長木地区保小連携カリキュラムの実施

### 学力づくり

児童と教師で創り上げる一体感のある授業の推進

- 学びを深めるかがやきタイムの充実
- 主体的に取り組む家庭学習の推進
- 各種調査の結果を生かした課題の改善と授業改善の取組
- 豊かな感性を育む読書の推奨

学び場づくり 子どもたちが輝くための基本的な学習・生活のサポート、教育環境整備

- 気持ちのよいあいさつの励行
- 相手をおもいやる優しい言葉遣い
- 学習ルール・生活ルールの定着
- インクルーシブ教育を意識した学びの場の提供
- いじめ・不登校の未然防止、早期発見、即時対応
- 児童を語る会での情報共有
- メディアコントロールの取組の充実
- 外部機関との連携の充実

指導力づくり① 国語科「読むこと」の教育実践

- 「読むこと」の教材研究・教材解釈の理解と実践
- 児童の問いを生かした問題解決型の授業づくり

指導力づくり② ICTを活用した授業づくり

- 教科の枠を超えたICTを活用した授業実践の蓄積
- 教師のICT活用指導力、児童のICT活用能力の向上

教職員づくり よりよい職場風土を醸成し、教師個々の潜在能力を引き出し、キャリアアップにつなげる

- 授業を見る会を通じたOJLコーチングの充実
- 働き方改革の推進による働きやすい職場
- 仕事の中に「笑い、ユーモア、遊び心」を
- 教職員のキャリアステージに応じた校内研修の推進

重点戦略を支える太い根

## IV 項目別評価

### 学校教育目標の実現と4つのコンピテンス

児童の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
17の実践目標の活動に具体的に取り組む中で、子どもなりに4つのコンピテンスの意味を捉えながら、学校づくりに参画している。	前期	概ね良好	概ね良好	子どもたちは、高学年に上がるに連れて落ち着いている様子が見られる。授業参観では、子どもたちが主体的にチャレンジできるよう、教師が授業を上手に進める場面が見られ、全体的に教育活動がしっかりと準備されていると思われる。
	年度	概ね良好	良好	全体的に数値が向上しており、年度を通して学校経営や4つのコンピテンスの定着に取り組んできた先生方の意欲が感じられる。前期、後期ではなく、1年間の評価としてこの数値の伸びは十分評価できる。

自己評価の概要と学校の改善策

【前期】今年度の児童アンケート調査に、児童会テーマと17の実践目標に関する調査項目を加え、さらに、児童アンケートの調査対象を全学年とした。児童会テーマ等を、ましてや低学年が評価することは難しい面があると思われるが、自分たちの行っている様々な教育活動が何のために行われているのかを、児童の発達段階の理解度に応じて継続的に捉えさせていくことは、それなりに意味あるものと考えている。

学校教育目標の保護者の肯定割合は95（昨年度比+4）、教職員は肯定割合100（+36）となり、否定的な回答が0になった。学校経営を行う教職員自身の意識がプラスになったことは大きな進歩である。4つのコンピテンスのうち、児童と保護者でコミュニケーションと自分らしさで数値の向上が見られた。感謝の気持ちを持ち、なりたい自分をイメージして活動に取り組むことは、様々な活動の原動力となる。後期以降の目標は、全ての項目で肯定的割合が90%以上、「そう思う」の割合が過半数を越えることである。そのためにも17の実践目標の具現化を通して「やれる自分、なりたい自分」を実感し、全校児童が学校づくりに一緒に取り組む学校を今後も目指していきたい。

【年度】学校教育目標の肯定割合は、保護者は前期と同数値で変化は見られなかった。4つのコンピテンスでは、保護者は前向きさについて、児童は4項目全てで肯定的回答の割合が若干増えたが、全体的に前期と大きな変化は見られなかった。教職員による5段階評価は、前期3.4平均から後期3.9平均と数値の上昇が見られた。4つのコンピテンスを意識しつつ、17の達成目標を児童に自覚的に取り組ませ、意識化を図ってきたことが成果として現れてきているものと思われる。

こうした結果から、4つのコンピテンスについては児童・保護者・教職員への意識付けがある程度図られていることが分かるが、評価項目の(1)基本的な生活習慣の定着、(2)集団生活・集団行動の遵守では、保護者の評価が著しく低下するなど、必ずしも4つのコンピテンスの理解と、具体的な活動や取組の成果が整合しているわけではない。学校では、より児童の実態に近く、課題の解決に必要なコンピテンスについて協議をし、次年度からの目標にしていく予定である。

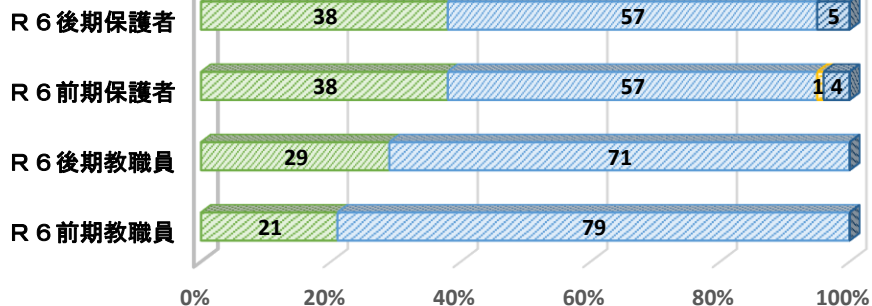
評価指標	評価指標の内容	自己評価B	
		R6前期	R6後期
学校教育目標	ふるさとに立ち心豊かでたくましく生き生きと学び合う子どもの育成	3.3	4.1
チャレンジ力	何事にも「やってみよう」という気持ちをもって粘り強く取り組んでいる。	3.4	3.9
コミュニケーション力	学校生活や家庭生活の中で、感謝の気持ちを忘れずに生活している。	3.5	3.9
前向きさ	失敗してもくよくよせず、気持ちを切り替えて前向きに取り組んでいる。	3.3	3.8
自分らしさ	自分と他人を比べずに、自分なりなりたい自分をしっかりとって生活している。	3.3	3.9
17の達成目標	子どもたちは17の達成目標を意識して学校生活を送っている。		3.8

# 【評価指標】 学校教育目標・身に付けさせたい資質

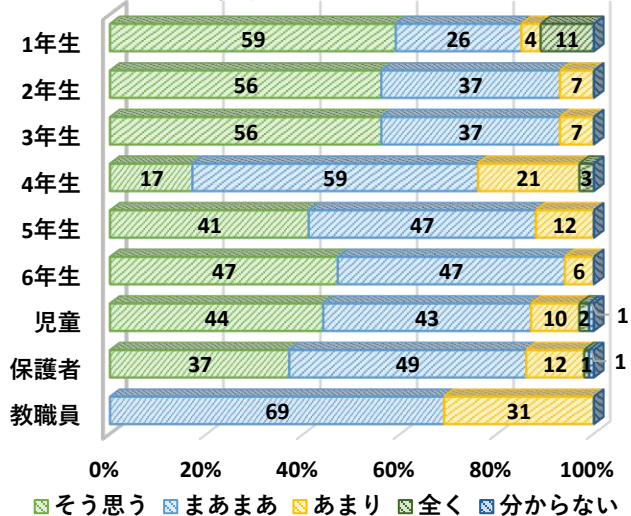
## 【学校教育目標】

学校は、学校教育目標の実現のため、創意工夫した教育活動を実施している。

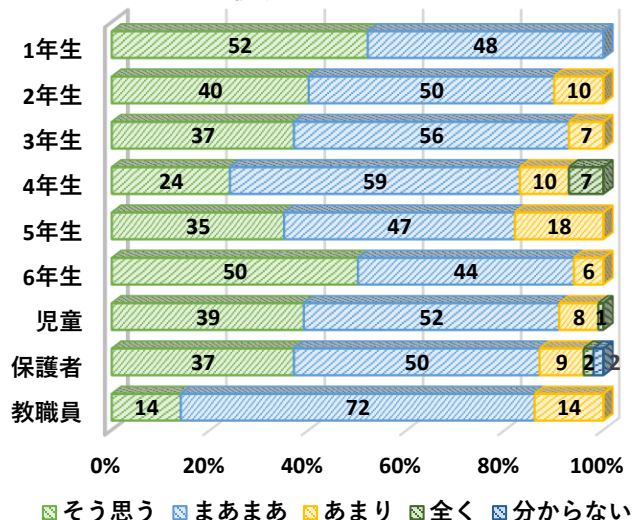
■ そう思う ■ まあまあ ■ あまり ■ 全く ■ 分からない



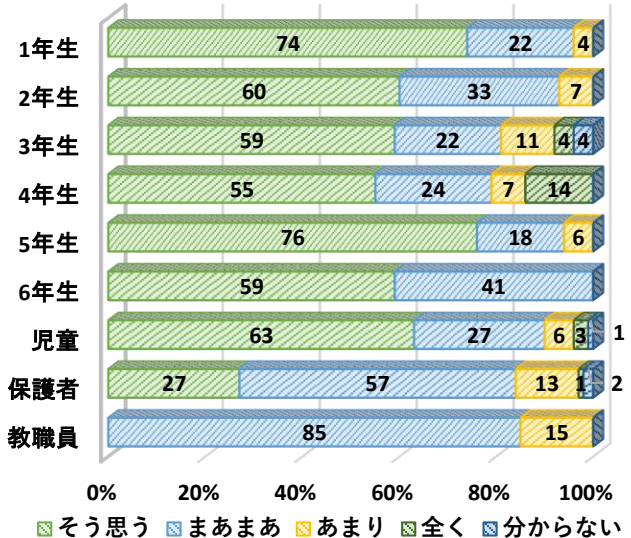
## R 6 前期 チャレンジ力



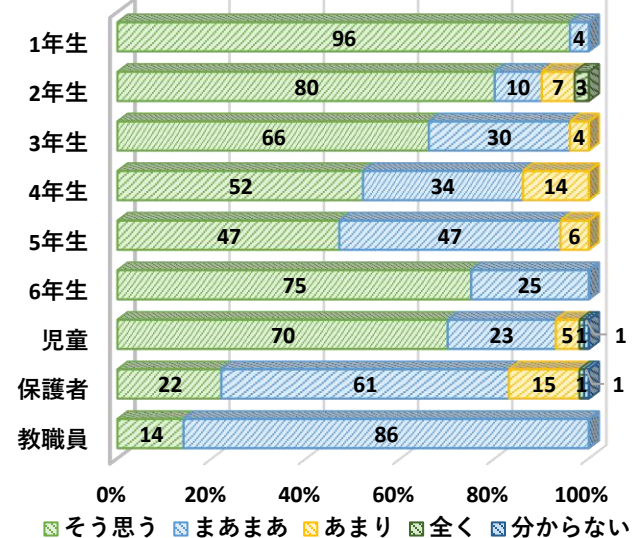
## R 6 後期 チャレンジ力



## R 6 前期 コミュニケーション力

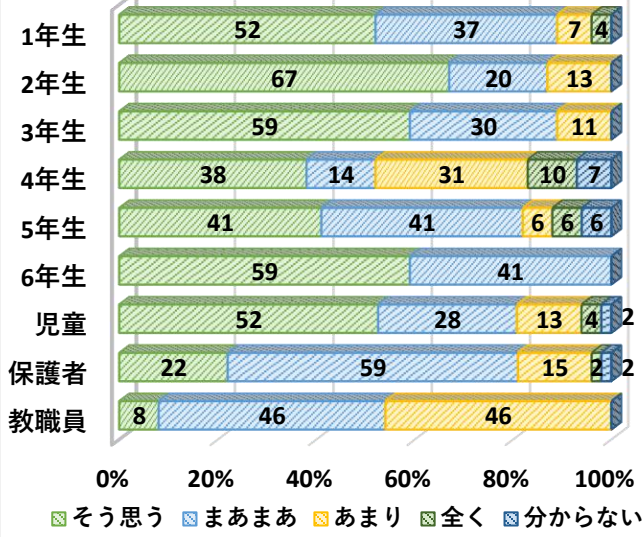


## R 6 後期 コミュニケーション力

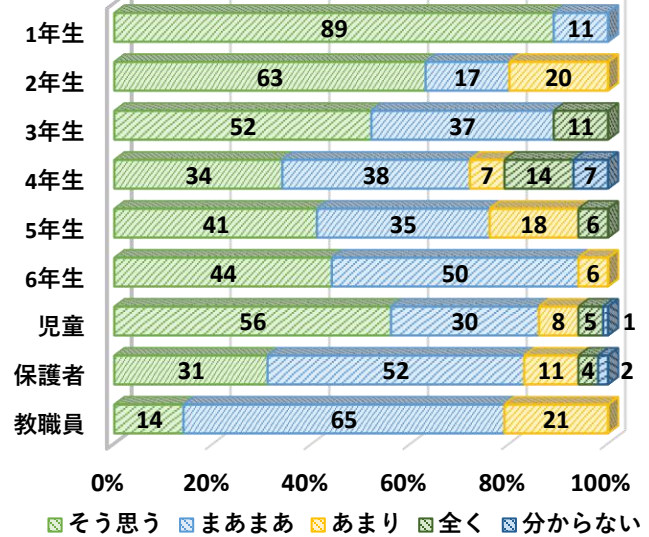


# 【評価指標】 学校教育目標・身に付けさせたい資質

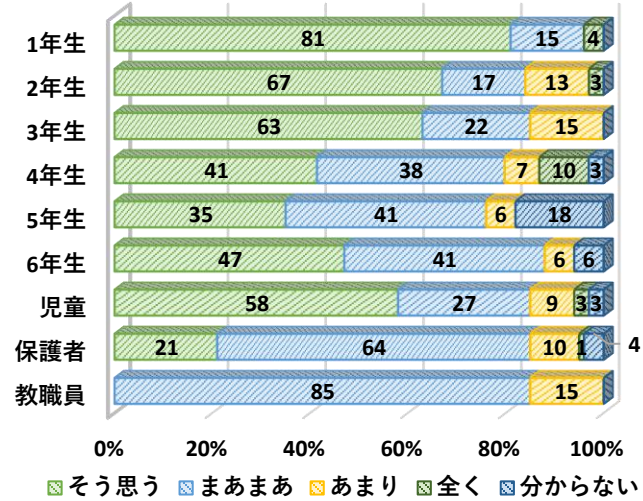
## R 6 前期 前向きさ



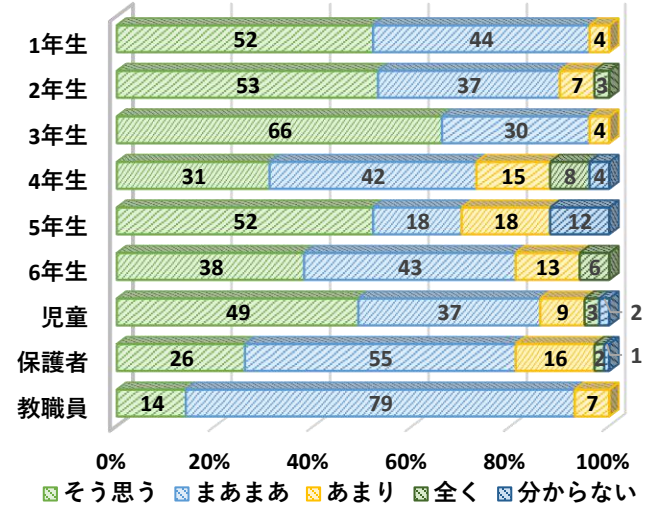
## R 6 後期 前向きさ



## R 6 前期 自分らしさ

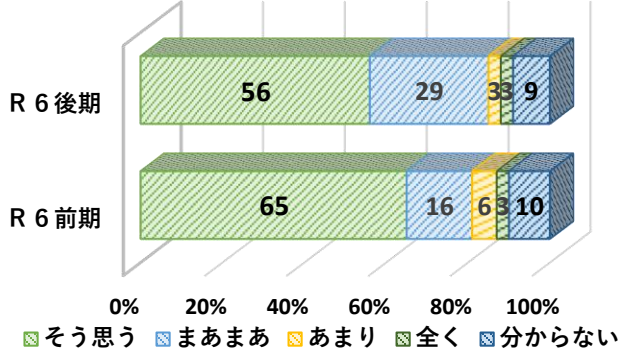


## R 6 後期 自分らしさ

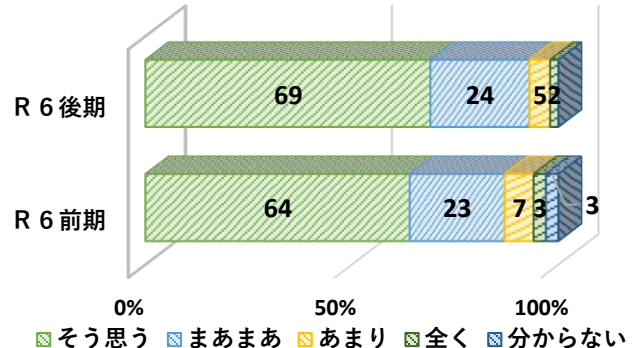


## Well-beingに関する調査項目の結果 (前期・後期比較)

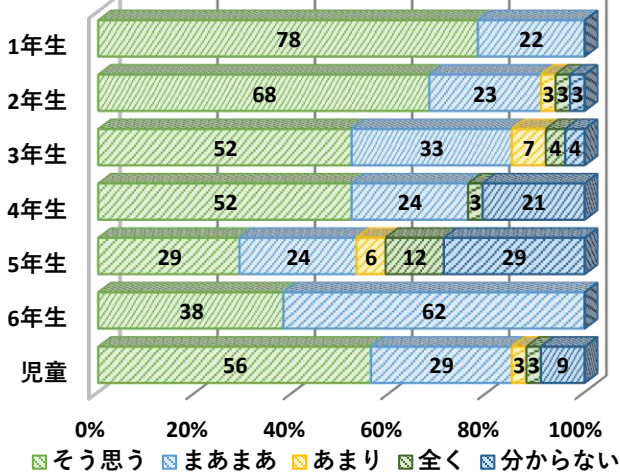
### 自分にはよいところがある



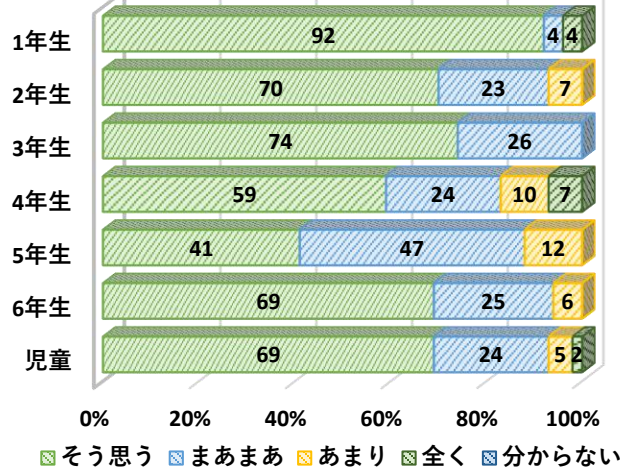
### 学校は楽しいですか



自分にはよいところがある



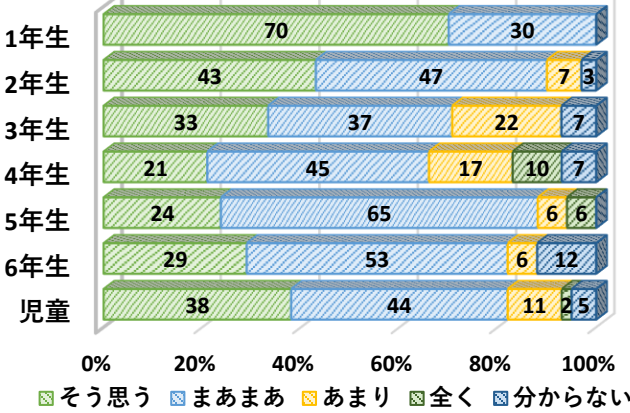
学校が楽しい



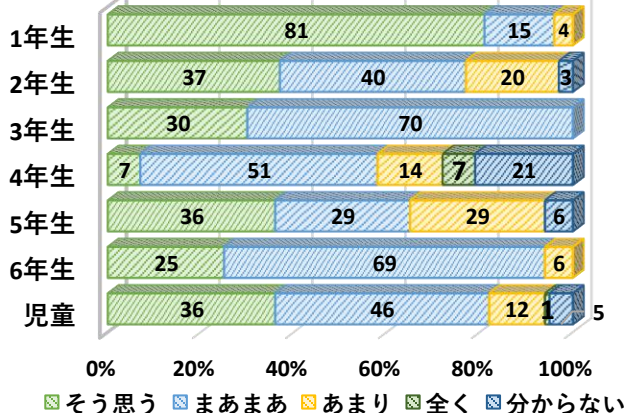
【参考データ1 児童会テーマの実現】

児童会テーマ「笑顔の花あふれる、やさしい学校」になるよう、自分で意識して生活できていると思いますか。

児童 前期回答



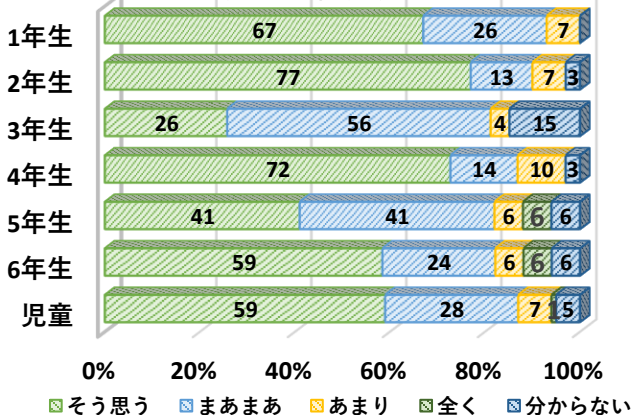
児童 後期回答



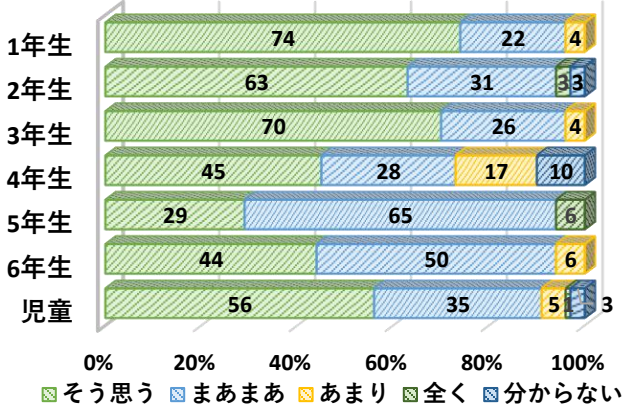
【参考データ2 17の実践目標についての意識】

17の実践目標は、あなたの学校や家での生活をよりよくするために役立っていると思いますか。

児童 前期児童



児童 後期回答



# Ⅳ 項目別評価

## 1 社会性の育成

児童の状況		自己評価 A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
基本的な生活習慣を身に付け、規律ある態度で協力し合い、主体的で充実した学校生活を送ろうとしている。	前期	概ね良好	良好	組織的な生徒指導の数値が伸びており、学校の具体的な対応が効果を上げていると思われる。後期の活動についても、児童主体の児童会活動を推進するという事なので、継続を図り安定した学校経営の維持に努めてほしい。
	年度	概ね良好	良好	あいさつは、自分のテリトリーや知っている人にはできるが、外部に対しては弱い。知らない人への警戒心が強くなってきているのを感じる。活動の場を広げて、その中であいさつがしっかりできる子どもを育ててほしい。

自己評価の概要と学校の改善策

【前期】言葉遣いについては、保護者の肯定率に変化はないが、児童の肯定割合が84（+16）に向上した。これは、1学期に児童会が「あったか言葉運動」を展開し、やさしさを表す「言葉」について具体的に考え取り組んだ成果である。こうした取組により、いじめに関する質問でも保護者が昨年度比+8、児童が+18となり、安全・安心な学校という認識が広がりつつあると捉えている。いじめにまで至らなくても、細かいトラブルや、子どもへの不安、悩みについて機を逃さず相談活動を続けてきたことの成果であろう。

ただし、あいさつや言葉遣いに対する児童の自己評価は高いものの、保護者や教職員の評価は決して高くはない。この児童と保護者のギャップをどう埋めていくのか、また、あいさつや言葉遣いにどう家庭を関わらせていくのかがこれからの課題であると考えている。エゾポップPJやあじさいPJ、地域の施設訪問など、多くの人との関わりの中で、望ましい社会性の育成に今後も取り組んでいきたい。

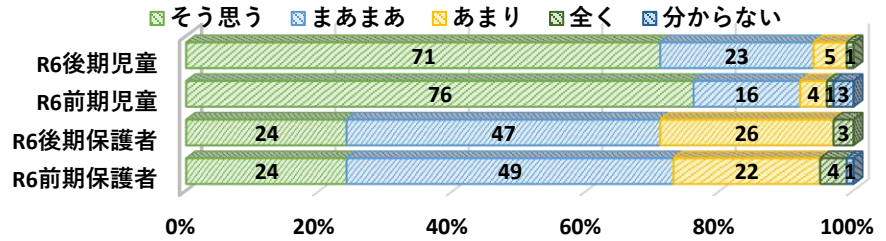
【年度】社会性の育成に関する各項目の学校の自己評価は、だいたい0.4、0.5ポイント上昇し、教職員の取組の意識は高まっている。しかしながら、保護者の評価は、「そう思う」と回答した割合は増えている項目が多いものの、肯定的な回答全体では、ほぼ全ての項目で落ち込みが見られる。反対に、児童の肯定的回答は前期を上回る項目も見られるが、「そう思う」の割合が減少している項目が多く、この部分で保護者の評価が下落したことが推測される。児童と保護者の意識のギャップについては前期の反省でも触れているが、社会性の育成の重要性について保護者と児童で共通理解を図っていくことが必要である。保護者にはPTAや学校報を通じて、あいさつや言葉遣いなどの指導についてお願いをするとともに、意識付けを図るための取組を各分掌で検討していきたい。

評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価 B	
			R 6 前期	R 6 後期
(1) 基本的な生活習慣の定着	① 明るいあいさつと正しい言葉遣いの励行	登下校時や校外でのあいさつの指導 相手や場に応じた言葉遣いの指導	3.2	3.8
	② 生活の約束を守る姿勢・態度の定着	長木っ子の約束の徹底		
(2) 集団生活・集団行動の遵守	③ 学校づくりに参画する態度と実践力の育成	児童会活動（委員会 こども集会） 児童総会 クラブ活動	3.5	3.9
	④ 自分の活動に責任をもち、互いのよさを生かし認め合う態度の育成	係活動 学級会 グループ活動 輝き合い 集会 絆タイム 縦割り班活動 全校道徳 ココロの授業の実施		
(3) 組織的な生徒指導	⑤ 問題行動の早期発見、即時対応、指導体制の確立	長木っ子を語る会 個人面談 定期的ないじめ等の調査 外部機関との連携	4.0	4.4

## 【評価指標（1）】 基本的な生活習慣の定着

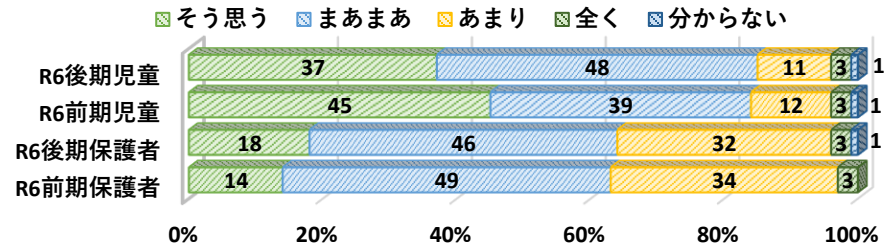
児童：友達や先生、地域の方に元気にあいさつをしていますか。

保護者：子どもたちご家庭や町内で元気なあいさつをしていますか。



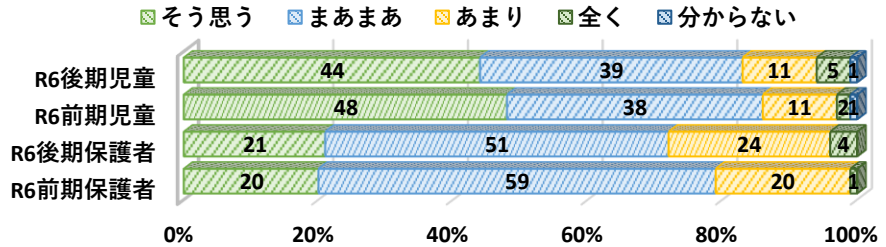
児童：正しい言葉遣いで話していますか。

保護者：子どもたちは相手や場に応じた正しい言葉遣いができていると思いますか。



児童：学校や家で約束を守って生活していますか。

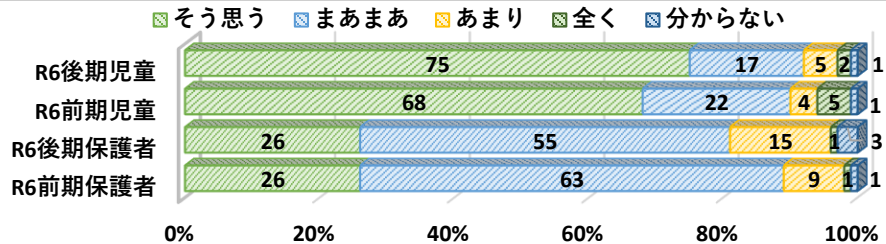
保護者：子どもたちは学校や家で約束を守ろうとしていますか。



## 【評価指標（2）】 集団生活・集団行動の遵守

児童：自分の仕事を責任をもって行っていますか。

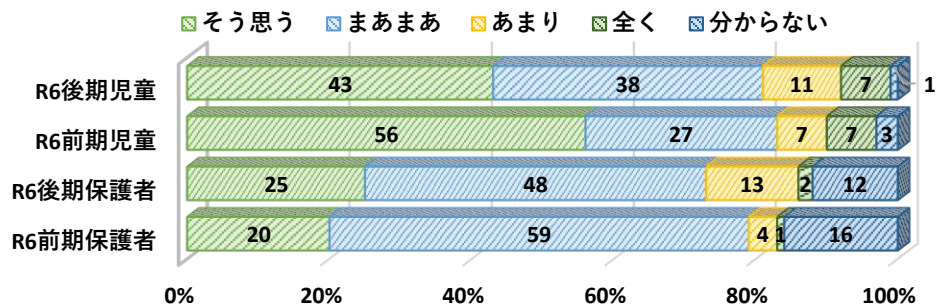
保護者：子どもたちは学校や家で自分の役割を果たしていますか。



## 【評価指標（3）】 組織的な生徒指導

児童：あなたにとっていじめなどのない、過ごしやすい学校ですか。

保護者・教師：学校はいじめ等のない安心できる学校づくりに取り組んでいると思いますか。



# IV 項目別評価

## 2 健康と体力づくり

児童の状況		自己評価 A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通じて健康や体力に関心を持ち、また、避難訓練等を通して身の守り方を身に付け、健康で安全な生活を心がけている。	前期	概ね良好	概ね良好	各項目の肯定的回答の割合が伸びており、概ね良好と判断できる。メディアコントロールについては、中学校や保育所と連携を今後も図り、保護者への啓発に努めてほしい。
	年度	良好	良好	メディアコントロールの内容が保護者に理解されていない部分があるのではないかと。理解のある家庭とそうでない家庭の二極化が進んでいる。学校からの呼びかけをもう一歩進めてほしい。

自己評価の概要と学校の改善策

【前期】この項目では、児童、保護者ともメディアコントロールについての肯定的な割合が向上し、児童の「早寝、早起き、朝ご飯、歯みがき」も肯定的な割合が+8となり、健康に関する取組は概ね良好な結果と捉えている。メディアコントロールについては、児童の生活改善だけでなく、メディアを与える、あるいは一緒に使用している保護者への啓発も含まれることから、今年度は、メディア利用の低年齢化が著しい現状を受け、長木保育所と合同でメディアコントロールに関する保護者研修会を実施した。

児童の安全に関しては、避難訓練の実効性を高めるため、最も危険度の高い不審者対応訓練を4月中に実施した。昨年度は、通常避難に加え、立てこもり訓練を実施するなどして児童の命を守る取組の充実を図ってきている。体力テストは、ほぼ全ての学年で県平均を上回っているが、まずは通学を徒歩で行うよう保護者に依頼し、身近なところから運動不足の解消を図って行きたいと考えている。

【年度】健康と体力づくりに関する項目では、大きくはメディアコントロールや避難訓練、さわやかマラソンなどの活動にポイントを絞り、重点的に取り組んできたことが教職員の高評価につながっている。しかし、早寝早起きやメディアコントロールの保護者評価は下がる傾向にある。メディアコントロール週間における保護者の関わり（保護者の評価）が少なくなってきたことに起因しているようである。

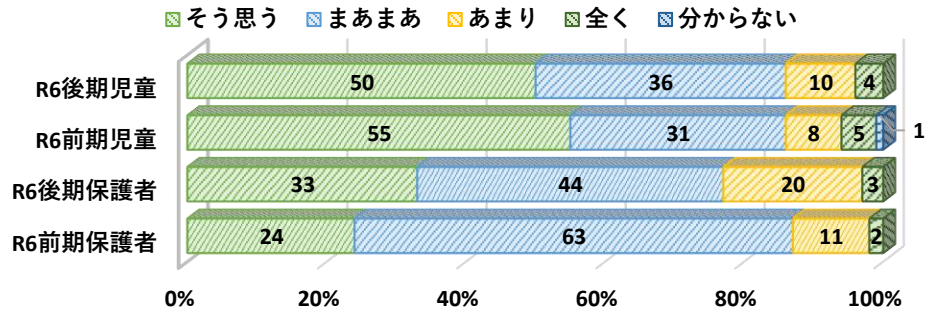
また、メディアと早寝早起きだけでなく、Iの社会性における「約束を守る」などの低下とも関連していることが推測される。メディアコントロールの取組は、他の項目との関連が大きいことから、今後も継続的に取組を強化していく必要があるが、まずは児童自身が自覚をもってコントロールできるように児童集会の開催や委員会の取組を強化していきたい。

評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価 B	
			R 6 前期	R 6 後期
(4) 健康教育、食育、安全教育の推進	⑥生活習慣の定着・改善	生活習慣の定着とメディアに関する実態調査 メディアコントロール週間の実施 保健指導の充実 栄養士による食育指導	3.8	4.4
	⑦安全教育の充実と組織的な取組	交通安全教室 避難訓練 危険箇所点検 メール配信システムの活用 PTA・地域子ども見守り隊との連携 登校指導		
(5) 体力づくり	⑧さわやかマラソン・業間運動への積極的な取組	さわやかマラソン 外遊びの奨励 マラソン記録会の実施 てくてく歩こう運動	3.5	4.1
	⑨新体力テストの結果の向上	結果分析・活用 体育での補強		

## 【評価指標（4）】健康教育、食育、安全教育の推進

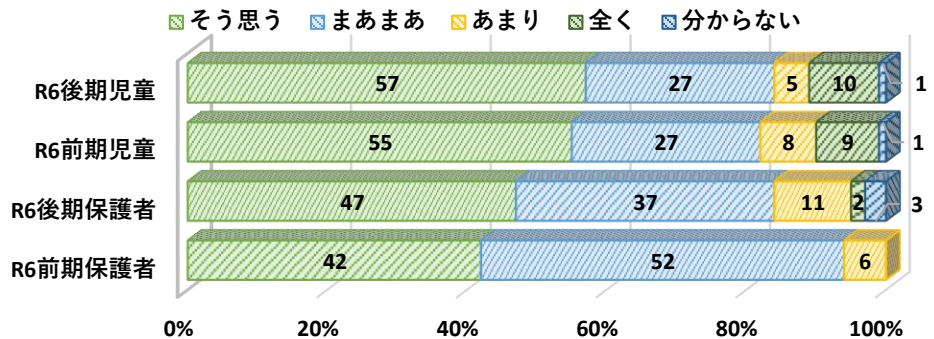
児童：「早寝、早起き、朝ご飯、歯みがき」がしっかりできていますか。

保護者：子どもたちは「早寝、早起き、朝ご飯、歯みがき」などの基本的な生活習慣が身に付いていると思いますか。



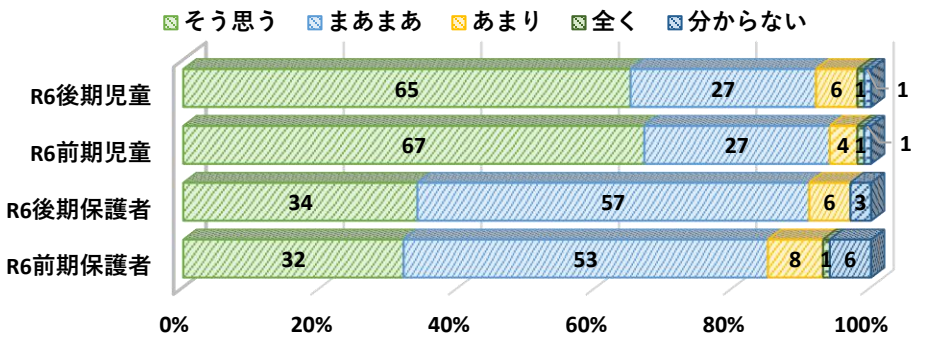
児童：時間を決めてゲームをしたり動画を見たりしていますか。

保護者：学校はメディアコントロール等、子どもたちの生活習慣を改善するための取組をしていると思いますか。



児童：地震や火事などのときの身の守り方や、交通安全のルールをしっかり身に付けていますか。

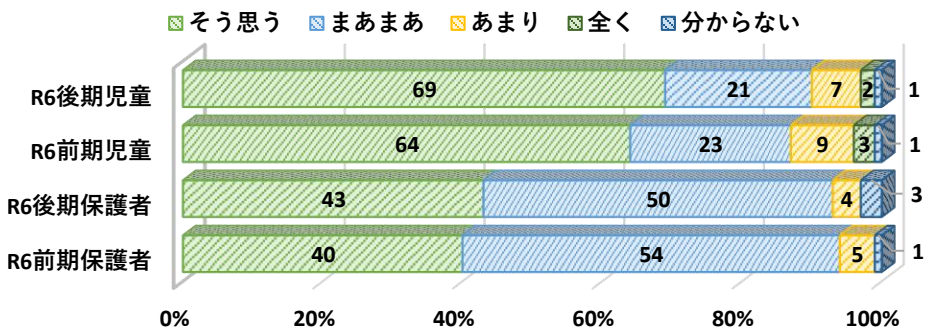
保護者：学校は校外における子どもの安全確保について、情報収集を行い、十分な情報発信をするなど、安全対策を取っていると思いますか。



## 【評価指標（5）】体力づくり

児童：「さわやかマラソン」や「てくてく歩こう運動」など、体を動かすことを進んで行っていますか。

保護者：学校は「さわやかマラソン」や「てくてく歩こう運動」を通して進んで運動し心身を鍛えようとする子どもを育てていると思いますか。



# Ⅳ 項目別評価

## 3 確かな学力

児童の状況		自己評価 A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
意欲的に学習に取り組み、基本的な学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	読書習慣の保護者の数値が伸び、改善の傾向が見られ、学校の取組が保護者に伝わっている。家庭学習や授業の話合いなど、今後も改善が必要な項目については引き続き対応をお願いしたい。
	年度	良好	良好	評価基準が変わったこともあるが、学力で自己評価が4.0を越えるのは大変良い傾向にある。学力の定着に結び付けてほしい。今日の授業参観では、力のつく授業が行われていた。低学年は元気があってよい。高学年でも活力ある授業に期待したい。読書は改善傾向が見られ、今後に期待したい。

自己評価の概要と学校の改善策

【前期】家庭学習の習慣は、保護者、児童共に肯定回答率が90%であるが、教職員の評価は低く、家庭学習の内容がマンネリ化し質の向上が見られていないことへの評価によるものと思われる。とは言え、家庭学習を児童や保護者任せにしては、大変な結果になることは周知の事実であり、夏季休業中の保護者面談で助言等を行った。子どもたちの話合いについては、昨年度のこの会や所長訪問でも指摘を受けており、話合いを子どもたちに任せることを教師が決断しなければ数値的に伸びてこない。本校の授業改善の大きな課題である。読書活動については、保護者、教職員共に数値の向上・内容の改善が図られている。教師からの指導ではなく、図書委員会を通じた主体的な活動を取り入れ、読書の更なる習慣化を図っていききたい。

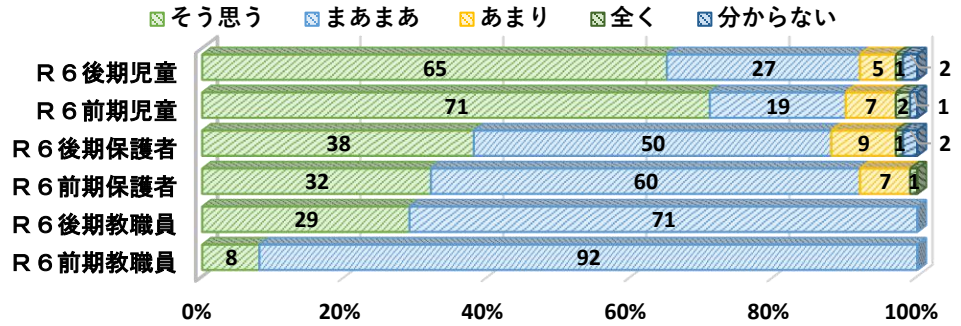
【年度】確かな学力に関しては、教職員の自己評価が大きく伸びている。前期の反省を踏まえ、まとめや学習内容の定着を意識した授業の改善、児童に苦手意識が見られる話合いの取組の推進などがそれらの理由であろう。今後もさらに授業改善や学習支援に力を入れ、基礎学力の定着を図っていききたい。  
校内研修で、児童の学習面での課題として「聞く力」が挙げられた。これには、正しく聞き取って理解することと、相手を尊重して、「相手の話に耳を傾ける」の両面がある。本校の児童は特に相手の話を傾聴する意識が弱いので、ここから鍛えていくことが次年度の課題である。また、勉強をやり抜く「忍耐力」の不足も指摘された。2学期から始めた「百マス計算」や冬休み明けの全校一斉漢字テスト等で、まずは学びに向かう姿勢を高めて、その上で学力向上につなげていきたい。

評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価 B	
			R 6 前期	R 6 後期
(6) 学習への取組	⑩基本的な学習習慣の定着	学習の約束（チャイム席/準備） 相手を意識した聞き方・話し方 家庭学習	3.4	4.1
	⑪学習内容の基礎・基本の確かな定着	週末課題 長木検定 ドリル検定 パワーアップ		
	⑫課題解決的で共感的な学び合いの推進	課題解決的な単元構想 共感的なかがやきタイム ICTの活用		
	⑬読書活動の推進	読書タイム 読書運動 週末読書 よむよむリストの活用		
(7) 諸学習調査の状況	⑭学習状況調査等の分析と改善	学習状況調査・CRTの分析と活用・補充指導	3.3	4.1

## 【評価指標 (6)】 学習への取組

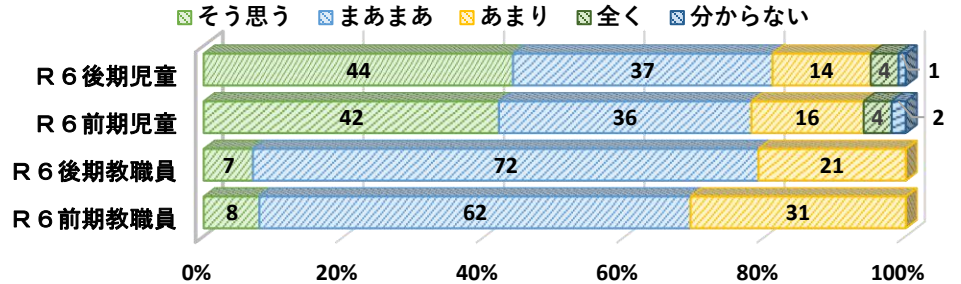
児童：家庭学習を毎日忘れずに取り組んでいますか。

保護者、教職員：子どもたちに家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。

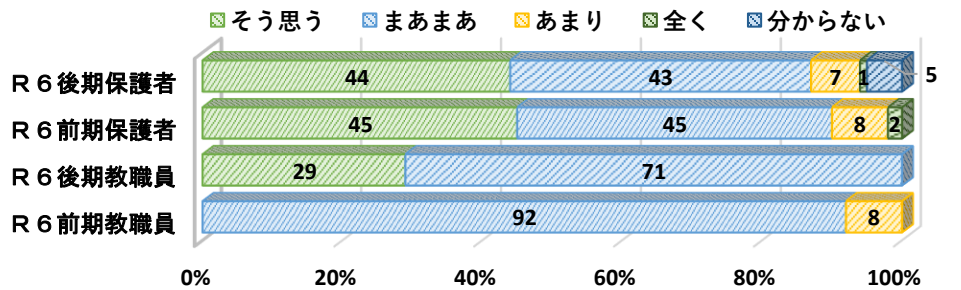


児童：授業では進んで発表したり話し合ったりしていますか。

教職員：学級の児童は、進んで発表により組んだり、話し合いに参加したりしていると思いますか。

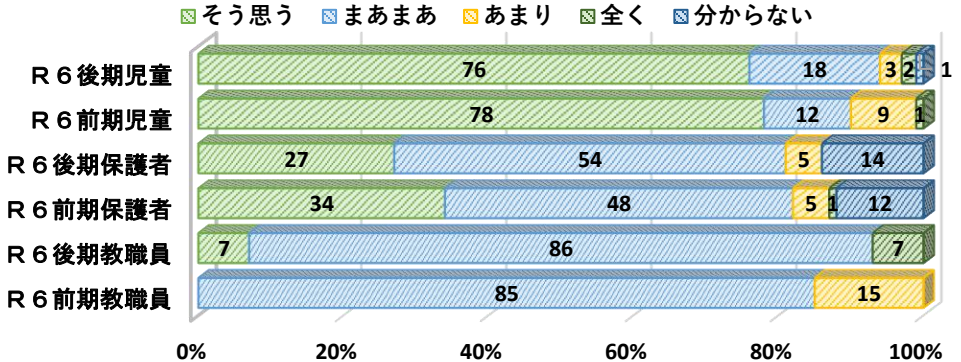


保護者、教職員：学校は、ぐんぐんタイムや週末課題、長木検定等を通じて、子どもたちの基礎学力の定着に力を入れていると思いますか。



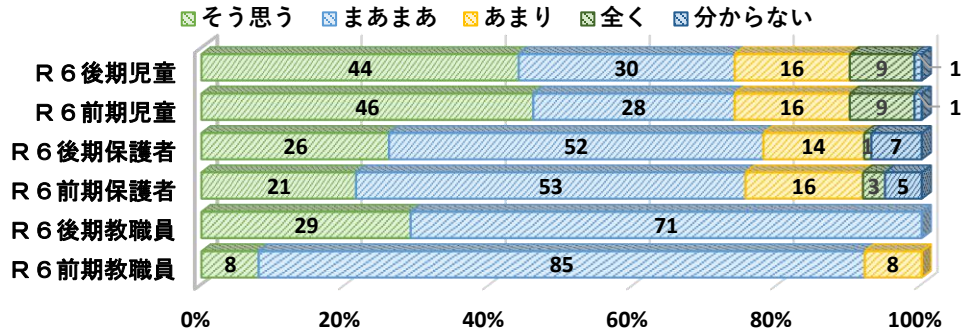
児童：先生方は勉強をわかりやすく教えてくれていると思いますか。

保護者：教職員  
学校は、子どもたちにわかりやすい授業を提供していると思いますか。



児童：読書を進んで行っていますか。

保護者：子どもたちは家庭で読書をする習慣が身に付いていると思いますか。



# Ⅳ 項目別評価

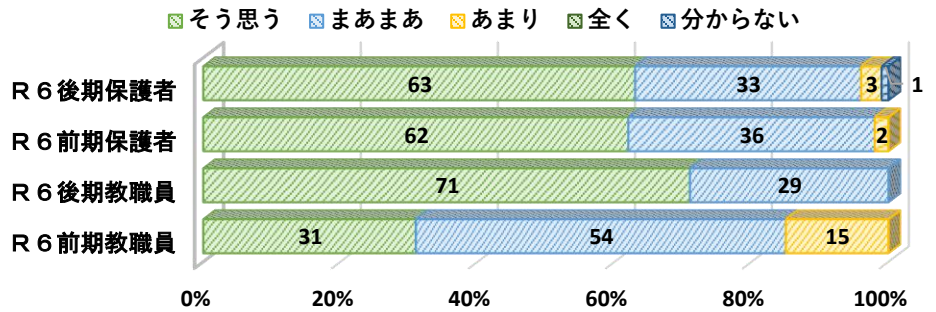
## 4 ふるさとキャリア教育

児童の状況		自己評価 A	学校関係者 評価	学校関係者評価委員のコメント
ふるさとに誇りと愛着をもち、ふるさとに生きようとする気概もっている。	前期	概ね良好	良好	長木の卒業生は誰でも太鼓をたたけることが自慢である。町内の集まりに子どもたちが来なくなってきていることは心配であり、子どもの活動を許可する保護者の許容度の問題があり、どうつなげていくかが課題である。
	年度	良好	極めて良好	保育所との架け橋の取組、地域の行事への参加など、地域と一体的な取組ができていると実感できる。保育所も一緒にあじさいPJに参加するなど、活動の幅を広げており、相乗効果が生まれている。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期】昨年度の学校評価一覧の指標(8)、(9)の内容が重複していたことや、コロナ後の取組として活動を整備し直したことにより、評価指標(8)を「命輝け、エゾポッポPJ」から「ふるさと教育・地域貢献の取組」に変更して、取組の明確化を図った。(8)、(9)の評価指標とも保護者の肯定的な割合は高く、ふるさとキャリア教育の推進の成果が現れている。しかしながら、参考指標で示した児童への質問「地域の行事に参加しているか」では、「そう思う」の回答割合が増えているものの、肯定的回答の割合自体は増えていない。この指標は、17の実践目標の⑮「人と地域とつながろう」の指標にもなり、今後、地域行事や各町内との更なる連携を模索していく必要があると考えている。</p>			
	<p>【年度】評価指標(8)、(9)共に、後期の教職員の「そう思う」の割合が増え、保護者のグラフの形に近づいてきた。学習発表会を皮切りに、圏域産業祭や公民館祭での鳳凰太鼓の演奏、地域の施設訪問など、2学期にかなりの活動を行ったことで、子ども達が地域の中で少しずつ自信をもって前向きに取り組むことができるようになったことの評価であると考えている。次年度は、学校経営の視点から、「鳳凰太鼓」の演奏を学校経営の大きな柱とし、そこに向かって、あじさいPJやエゾタンポポPJが絡んでいく形で、活動のスリム化、見える化を図り、保護者、地域にとって分かりやすいふるさと教育、キャリア教育の推進を行っていきたい。</p>			

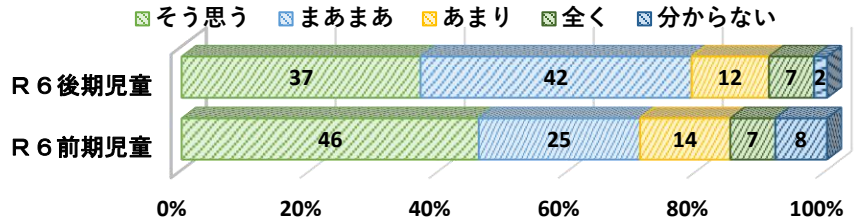
評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価 B	
			R 6 前期	R 6 後期
(8)ふるさと教育・地域貢献の取組	⑮あじさいPJ・エゾタンポポPJの推進 鳳凰太鼓、鹿島太鼓の伝承	地域おこしPJへの全校体制での参加 鳳凰太鼓の継承と地域での演奏 伝承クラブによる鹿島流しの継承	3.7	4.3
(9)キャリア教育の推進	⑯協働実践へのアプローチ	宿泊体験活動 町探検 施設訪問活動 全校ふるさと学習 地域ボランティア活動への参加 子どもハローワークの推奨	4.0	4.6

## 【評価指標（8）】ふるさと教育・地域貢献の推進

保護者、教職員：学校は、エゾタンポポPJやあじさいPJ、鳳凰太鼓や鹿島太鼓、鹿島流しなどの活動を通して、子どもたちにふるさとを愛し誇る気持ちを育てていると思いますか。

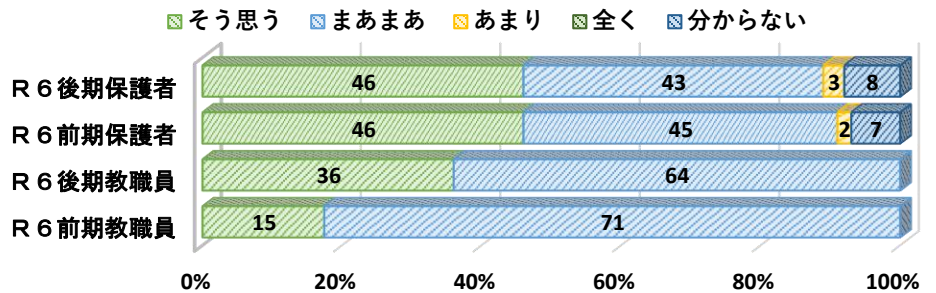


児童：進んで地域の行事に参加していますか。



## 【評価指標（9）】キャリア教育の推進

保護者、教職員：キャリア教育を通して、協力して取り組もうとする気持ちが子どもたちに育っていると思いますか。



## Ⅳ 項目別評価

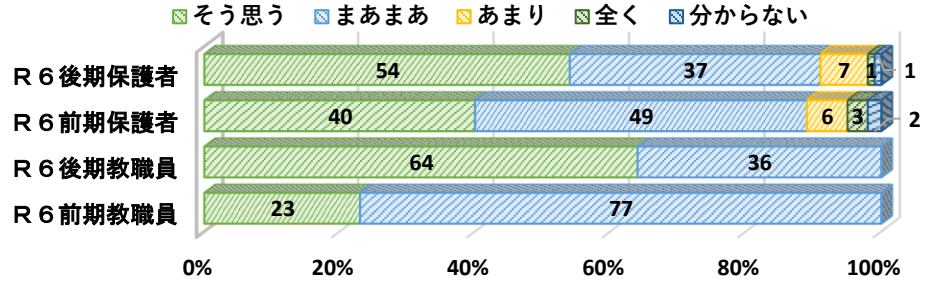
### 5 保護者・地域との連携

児童の状況		自己評価 A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取組がわかりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力を有効に活用している。	前期	概ね良好	良好	昨年度同様、地域人材が効果的に活用され、地域とのつながりが充実していると思われる。今後も学校評価や保護者からの声に耳を傾けて、学校運営に丁寧に反映をさせてほしい。
	後期	良好	極めて良好	学校の考えが、学校報を通じて伝わるようになっており、保護者との良好な関係が築けている。一年間の行事等が分かると、より連携がしやすくなるので、引き続き情報発信をお願いしたい。紙媒体を見なくなっている保護者が多くなっている今、時代に合わせた情報発信の仕方を検討してみしてほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	<p>【前期】保護者・地域との連携については、保護者アンケートの3項目の肯定的回答の割合が向上し、保護者から概ねよい評価をいただいている。学校報や学年通信、保健だよりなどで子どもたちの近況を保護者に伝えてきたことが評価されたのだと感じている。課題は保護者アンケート⑩に見られる「保護者の意見を学校運営に生かす」ことである。保護者が年々若返る中で、保護者と一緒にwell-beingな学校づくりに取り組むことで、長木小学校が改めて地域の学校となり、ひいては地域の新たな教育風土の醸成につながっていくよう、保護者、地域との連携をさらに深めていきたい。</p>			
	<p>【年度】子どもたちの様子の情報提供やPTA活動等の連携では、大きな伸びはないものの、保護者の「そう思う」の割合が増え、概ね良好な状況であると思われる。しかしながら、保護者の意見の反映については肯定率が5ポイント数値を下げ、また、「分からない」と回答している割合も15%おり、今後の課題である。学校の対応としては、保護者の意見は真摯に承りながらも、実現できる部分とそうでない部分の根拠を明らかにしながら保護者に伝え、学校運営に効果的に反映させて行かなければならないと考えている。学校評価は、保護者の意見を聞く重要な機会であり、今後も、分かりやすい評価、見えやすい改善を心掛けていきたい。</p>			

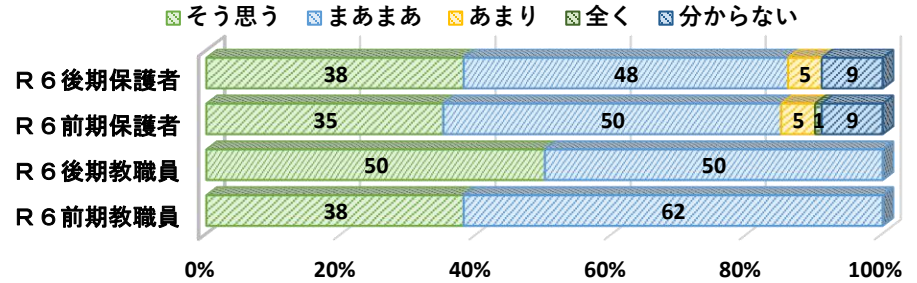
評価指標	評価指標の内容	主な取組	自己評価 B	
			R 6 前期	R 6 後期
(10) 地域・家庭との連携	⑰家庭・地域への情報発信、相互理解	学校報の地区配布 「みんなの登校日」の設定 ホームページ・ブログ・メールでの情報発信	3.8	4.4
	⑱保護者、地域との連携	PTA活動の推進 エゾポップクラブ 地域行事への参加 保育所、公民館との連携		
	⑲家庭・地域の意見の活用	学校運営協議会の実施 学校評価アンケートの実施と活用		
(11) 地域の教育力の活用	⑳地域人材や地域素材の活用	長木小応援チームとの連携 正課クラブ指導者との連携	3.9	4.6

## 【評価指標（10）】 地域・家庭との連携

保護者、教職員：  
学校は、学校だより、学年だより、保健だよりや日常の情報交換などを通して、学校や子どもたちの様子を分かりやすく伝えていますか。

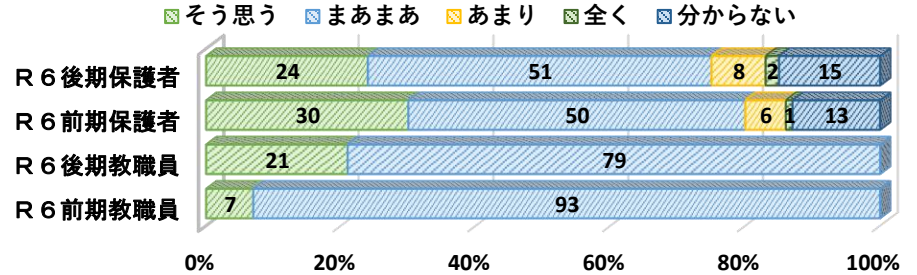


保護者、教職員：  
学校は、PTA活動、エゾポップくらぶ、スポ少等、保護者や地域との連携を大切にしていますか。



保護者：学校は、保護者の意見を学校運営に生かしていると思いますか。

教職員：学校は教職員の意見を学校運営に反映させていると思いますか。



## 【評価指標（11）】 地域人材や素材の活用

保護者、教職員：  
学校は、地域の特徴や地域の人材をよく活用していると思いますか。

